

志村第四中
第8学年
学年便り

板橋区立志村第四中学校
令和4年5月16日(月) No.7

むすび

結season2



5月の花
「ネモフィラ」です!

「時を守り、場を清め、礼を正す」

皆さんはこの言葉を聞いたことがあるでしょうか。この言葉は教育学者である「森信三」先生という方が作った言葉です。この3つの原則は、皆さんが立派な大人になるために、身につけなければならない行動規範だと考えてほしいです。

今回の学年便りでは、皆さんにこの言葉の意味について知ってほしいと思います。

【時を守り】…これは文字通り、時間や期限を守るということです。時間を守らなければいけない場面では必ず相手がいます。つまり、「時を守る」とは相手の時間を大切にすることで、相手を尊重することを意味しています。時を守り、相手を尊重することは、最終的に自分の信頼にもつながります。学校生活に当てはめて考えてみましょう。登校時間・提出物・チャイム着席など大丈夫でしょうか。

【場を清め】…掃除をするということです。その意味は「5K」で表現されることがあります。

- ① 気づく人になれる
- ② 心を磨く
- ③ 謙虚になれる
- ④ 感動する心を育む
- ⑤ 感謝の心が芽生える

給食の時間に近くの席でスープをこぼしてしまった生徒がいたとします。皆さんは、笑ってバカにする。「大丈夫？」と声をかける。黙って床を拭く。どの行動をするでしょうか。「場を清め」とは、共に生活する仲間や家族のために、自分から行動する心を意味しています。

【礼を正す】…あいさつ・返事をするということです。あいさつをするということは、相手に自分から心を開くということであり、「礼を正す」とは、あいさつをすることで素直になるという意味です。あいさつは良好な人間関係を築くための第一歩になります。しかし、あいさつや返事は、大きい声で言えば良いというものではありません。相手が気持ちよく受け取ってくれるあいさつを心がけましょう。

時間を守ることで相手を尊重し、掃除をすることで自分から行動する心を養い、あいさつをすることで素直になる。

普段の学校生活で心がけ、さらにあたたかく優しい学年になってほしいと思います。

緑のカーテン

5月12日(木)に緑のカーテン活動を行いました。今年度は「ミニトマト」「ゴーヤ」「キュウリ」の苗を、各学級2株ずつ植えました。

これからは「サポート班」が基本的に毎日の水やりを担当します。毎日の水やりを忘れなければ、苗はきちんと成長します。夏に立派な野菜が収穫できるように、水やり当番を忘れずにしっかりと取り組みましょう。

写真：緑のカーテン活動の様子

学級の様子を紹介します

2組 技術



5組 給食準備

1組 家庭科



3組 音楽

4組 給食準備



緑のカーテン
「ひまわり」と
「あさがお」も
植えました!